

# 地域の健康と 医療を支える看護の力、 看護職の未来展望

会場参加  
先着100名

オンライン参加  
先着100名

※オンデマンド視聴可

2023年1月28日(土) 14:00~16:00

会場 大阪成蹊大学 グローバル館 4階 グローバルホール  
〒533-0007 大阪市東淀川区相川3丁目10-62

## SYMPOSIUM

-登壇者紹介-

### 講演 1

がんサバイバーと創る  
ケアリング・コミュニティ



田村 恵子 先生

京都大学大学院医学系研究科人間健康科学系専攻  
先端看護科学コース 緩和ケア看護学教授、  
がん看護専門看護師

わが国における専門看護師のバイオニアの一人、末期がんに対するホスピスケア(緩和ケア)の草分けである大阪市・淀川キリスト教病院で27年間看護師を務める。ホスピスでがん患者を最後まで看取り、家族の看護にも取り組む姿がNHK「プロフェッショナル仕事の流儀」で2008年に放映。2012年には「奇跡のホスピス～人生の「わすれもの」ってなんですか?～」(MBS制作)主人公・田辺礼子のモデルとなる。

### 講演 2

誰もがその人らしく  
生きていける社会を



馬庭 恭子 先生

広島市議会議員  
地域看護専門看護師

地域看護専門看護師のバイオニアの一人。広島市において在宅緩和ケアに特化した訪問看護ステーションを設立し訪問看護を実践。その後、病の体験を経て2003年より広島市議会議員として活動し現在に至る。看護師の視点から、高齢者や障害のある方が、たとえ「ひとり」でも安心して暮らせる笑顔のたえない広島市の実現を目指している。

### 講演 3

地域の人々と共に目指す  
健康な街づくり



星野 明子 教授

大阪成蹊大学副学長  
看護学部設置準備室室長  
(同学部長就任予定)

主に国公立の大学・大学院で27年間、公衆衛生看護学・地域看護学を専門領域として看護学教育に携わる。現在も地域のコミュニティでの健康支援活動を精力的に行い続け、地域の人々が健やかに自分らしく生活するために必要なケアについての研究を続けている。2023年に開設する大阪成蹊大学看護学部では、副学長兼学部長に就任予定であり、これからの時代に求められる「人間力」のある看護師の輩出に向けて教鞭を揮う。

座長



工藤 節美 教授

大阪成蹊大学  
看護学部設置準備室 教授

大学病院、保健所で看護師、保健師として勤務後、公立・私立大学で看護学教育に携わる。2022年4月より大阪成蹊大学看護学部設置準備室に着任し、2023年4月からは同看護学部地域・在宅看護学の教授に就任予定。研究テーマは「在宅緩和ケアと訪問看護」「災害時の要介護者支援」等。

参加申し込み

右記のフォームよりお申し込みください▶



お問合せ先

大阪成蹊大学 看護学部設置準備室  
email:kango@osaka-seikei.ac.jp



大阪成蹊大学  
OSAKA SEIKEI UNIVERSITY

PROGRAM

14:00 ご挨拶 学校法人大阪成蹊学園 理事長・総長 石井茂

14:10 講演1 「がんサバイバーと創るケアリング・コミュニティ」 田村 恵子 先生

がん治療の進歩により多くのがん患者が地域社会で生活する時代となりました。第3期がん対策推進基本計画では、がん患者が尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築が目標として掲げられていますが、がんサバイバーが住み慣れた地域で、安心して暮らすための取り組みは始まったばかりです。我々は、がんサバイバーや家族がよりよく生きるための暮らしの知恵を育み、相互に支え合う場づくりを目的として、2015年7月より「ともいき京都」の活動を開始し、がんサバイバーと共にケアリング・コミュニティの創成に取り組んでいます。本活動を通しての看護の可能性について紹介します。

14:40 講演2 「誰もがその人らしく生きていける社会を」 馬庭 恭子 先生

介護保険法、がん対策法などをはじめ、自分たちの生活は様々な法律とは切り離せないものです。そして、地方自治体においてもその法律のもと、「絵に描いたモチ」ではなく、実行性の高い施策として、質の高い行政サービスを提供していく必要があります。地域で暮らす、赤ちゃんからお年寄りまで抱える課題は複雑化し、解決しなければならない課題は山積しています。社会人を経て、看護職になり、病院勤務、在宅看護、がん体験者を土台にし、地方議会のなかで医療・保健・福祉政策を中心とした政策決定・政策提案等を行っています。20年の議会活動のなかで「看護」がいかに社会貢献できるのかをお伝えします。

15:10 講演3 「地域の人々と共に目指す健康な街づくり」 星野 明子 副学長・教授

超高齢化社会や少子高齢化社会と呼ばれて久しい現在、子育て世代や高齢者世代の孤立を背景にして、長寿社会における多世代の健康課題が浮上しています。これまでに、京都市の東山区の商店街にサロンを設置し、人口空洞化地域における高齢者の自立支援のためのサテライトシステム構築を検討し、その後、小学校区規模の地域におけるソーシャルキャピタルの成熟化についての研究を積み重ねてきました。高齢化地域(商店街、自治会)で継続して取り組んでいる地域の人々と共に目指す健康な街づくりの実践活動や、宇治田原町で実施した調査結果をもとに、超高齢化社会における健康支援モデルと看護職者に求められる役割について考察します。

15:40 質疑応答・ディスカッション

16:00 終了(予定)



会場アクセス

- 阪急京都線「相川」駅 東改札口を出て 徒歩約5分(約300m)
- JR京都線「吹田」駅からスクールバスで7分、「相川」駅降車 徒歩約5分(約300m)
- 大阪メトロ今里筋線「井高野」駅からスクールバスで5分

お問合せ先

大阪成蹊大学 看護学部設置準備室  
〒533-0007 大阪市東淀川区相川3-10-62  
email:kango@osaka-seikei.ac.jp



大阪成蹊大学  
OSAKA SEIKI UNIVERSITY